



課長あいさつ

「パラスポーツの盛んなまち」

江戸川区文化共育部
スポーツ振興課

課長 笈川 晋一

江戸川区が「パラスポーツの盛んなまち」ということを皆さんはご存知でしょうか。本区は障害のある方がスポーツを身近でできる環境を整えるため、平成28年4月に障害者スポーツの専任組織（現パラスポーツ係）を設置し、障害者スポーツ、パラスポーツの推進に取り組んできました。

パラスポーツは「もうひとつのスポーツ」と呼ばれ、一般に行われているスポーツをベースに障害の種類や程度に応じてルールや用具を工夫しているという特徴があります。専用のボールを使用し、コート内に投げ込まれた白いターゲットボールに、より近くに投げ入れることを競い合う「ボッチャ」や、ルールは一般のバスケットボールに準じながら、高い敏捷性や回転性能を持った専用の車いすを使用する「車いすバスケットボール」などがあります。

本区は、東京2020パラリンピック競技大会を契機に、区内でパラリンピック22競技全てにチャレンジできる環境を整え、パラスポーツを身近に感じてもらう取組を推進してきました。その中で、スポーツ推進委員は、「地域のスポーツ

リーダー」として、競技スポーツの普及・啓発活動から、身近で楽しめるレクリエーションスポーツの取り組み、近年はボッチャなどのパラスポーツを地域で広めていただくなど、時代に合わせた様々な活動をされており、区のスポーツ振興の大きな推進力となっています。

さて、今年は11月に東京で、聴覚障害者（ろう者）の国際スポーツ大会、デフリンピックが開催されます。デフリンピックは、きこえない・きこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会です。ルールに大きな違いはありませんが、フラッシュランプを点灯したり、手や旗を挙げたりするなど、目でわかる工夫で選手に伝えるという特徴があります。また、選手同士のコミュニケーションは、アイコンタクト、手話、身振りなどで行い、オリンピックとは違った魅力や迫力があります。

大会には江戸川区ゆかりのアスリートも出場する予定です。皆さん、ぜひ選手を応援して、大会を盛り上げていきましょう。そして、この大会をきっかけにろう者やろう文化への理解を深めるよい機会となることを期待しています。

編集後記

「みんなのスポーツ」を最後まで読んでくださり、ありがとうございます。2月に開催された「ボッチャフェスティバル2025」は、老若男女問わず多くの皆様楽しんでいただき、大変盛り上がりました。

私たちスポーツ推進委員はこれからもパラスポーツとの繋がりを大切にしていきたいと思います。今後も楽しいイベントや講習会を計画していきますので、スポーツ推進委員の取り組みにご期待ください。

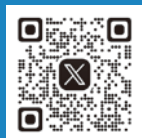
本誌115号（次号）は「東京2025デフリンピック特集」です。ぜひご覧ください。（広報部 秋元 健一）

江戸川区スポーツ推進委員会

Instagram



X



Web サイト



江戸川区スポーツ推進委員会の活動の様子をお知らせしています。



みんなのスポーツ Sports Vol. 114

第114号 令和7年5月21日 編集：江戸川区スポーツ推進委員会 発行：江戸川区 江戸川区中央 1-4-1 ☎03(5662)1636



会長あいさつ

「デフリンピックってご存じですか？」

江戸川区スポーツ推進委員会

会長 平野 秀夫

初夏の訪れを感じる時期となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年はパリオリンピック・パラリンピックの開催で大いに盛り上がりました。今年は二つの国際大会が東京で行われます。一つは皆さんご存じの「東京2025世界陸上」です。パリオリンピックで活躍した選手を間近で見られるのは楽しみです。そして、もう一つが「東京2025デフリンピック」です。デフリンピック、皆さん聞いたことありますか？ デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。耳がきこえない・きこえにくい人のためのオリンピックです。東京大会では陸上、サッカー、バレーボールなど21競技が行われます。日本では、初の開催となる第25回東京大会はデフリンピック100周年の記念大会です。

昨年秋に植松隼人さんというデフサッカー前監督のお話を聞く機会がありました。そのなかで「オリンピック、パラリンピックの認知度はほぼ100%ですが、デフリンピックは16.3%」とおっしゃっていました。パラスポーツについては随分と認知度が上がっていると感じますが、デフスポーツについてはまだまだかなと思います。また、デフリンピックをきっかけに、耳の聞こえない方との接し方などを知る機会になればと話しておられました。江戸川区スポーツ推進委員会では、少しでも認知度を上げるお手伝いができればと考えています。

今回はデフスポーツを知り、関わるができる新たな機会です。有明コロシアムではテニスの試合が行われます。アクアティックスセンターでは水泳が、足立区の東京武道館では柔道と空手が行われます。どんなふうに競技を進めるのか、会場でのアナウンスや応援の仕方など、会場に足を運ばないと分からないことが多々あると思います。また、江戸川区にゆかりのある選手も大勢出場されます。

デフリンピックの開会式は11月15日です。デフリンピックに少しでも興味をもっていただければ幸いです。

「東京2025デフリンピック」をみんなで、応援しましょう。

東京2025デフリンピック開催!!



東京 2025 デフリンピック大会エンブレム

- ・開催期間：2025年11月15日～26日（12日間）
- ・参加国：70～80か国・地域
- ・競技数：21競技
- ・大会数：25回目
- ・主な会場：東京体育館 等

ボッチャフェスティバル 2025

令和7年2月16日(日)
総合体育館

当日は、午前10時の開場前から受付に行列ができるほどの盛況ぶりで、最終的に122名の方にご参加いただくことができました。

会場内に設置された3つのコーナーでも、それぞれ受付に行列ができ、順番を待つ参加者の皆さんの期待感が伝わってきました。ゲーム体験コーナー



には何度も並び直して参加する方が多く、さまざまな人と交流しながらボッチャを楽しんでいたようです。

また、「普段はどこへ行けばボッチャ体験ができるのか。」といった質問も多く寄せられ、ボッチャに対する関心の高まりを感じました。私たちスポーツ推進委員としても、今後は各地区でこうした関心に応えられるよう、活動の充実をはかっていきたいと思います。

(副会長 肥田 初枝)

葛西地区の活動紹介

地域スポーツ講座「ボッチャ」

令和6年12月14日(土) 新田小学校

今回のボッチャ講座には、多くの人に参加していただきました。

初めての方には、ボールの投げ方やルールなどを分かりやすく説明し、その日のうちに試合ができるようになりました。経験者の方には、技術や戦術などの知識を交えながら試合を行いました。レベルは様々ですが、子どもも大人も一緒に和気藹々と楽しい時間を過ごしました。



帰り際には「次はいつやるの?」「またすぐにやりたい!」と嬉しい要望もいただき、令和7年度は講座回数を増やせるよう検討中です。

葛西地区部会では、毎年5月に「清新町・臨海町ふれあいまつり」と「南江戸川ふるさとまつり」でストラックアウト、10月に「葛西まつり」でボッチャ体験を行っていますので、ぜひ一緒にスポーツを通じて楽しい時間を共有しましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

(葛西地区部長 芳賀 智子)

パラスポーツ指導員 × スポーツ推進委員

江戸川区では、パラスポーツの普及啓発及びパラスポーツを支える人材を創出するため、障害に関する知識を身につけ、障害の程度や適性に応じた基礎的指導やサポートができる人材を養成する「初級パラスポーツ指導員養成講習会」を年に1度、開催しています。私たちスポーツ推進委員はすべての委員が初級パラスポーツ指導員の資格取得を目指しています。

初級パラスポーツ指導員の資格を取得しました!

令和6年度 初級パラスポーツ指導員養成講習会
令和7年2月15日(土)・22日(土)・3月8日(土)

講習会では、障害者スポーツの魅力を実際に体験し、障害のある方々がどのようにスポーツを楽しんでいるのかを学ぶことができました。基本的なルールや技術に加え、障害の特性に応じたスポーツの適応方法についても習得しました。実技では、うまくいかない場面もありましたが、徐々にコツをつかみ、パラスポーツの多様性と奥深さを実感することができました。

この経験を通じて、パラスポーツへの理解が一層深まり、スポーツのもつ力を改めて認識しました。また、参加者との交流を通じてモチベーションも高まり、今後はさら



に多くの競技に触れながら、指導スキルの向上を目指していきたいと考えています。

パラスポアンバサダーとしてその魅力を広く発信し、理解促進と認知度向上に努めてまいります。イベントや体験機会を通じて、パラスポーツの可能性を伝え、すべての人がスポーツを楽しめる社会の実現に貢献したいと思います。

(小岩地区 濱邊 一成)



パラスポアンバサダー 活動歴7年

パラスポアンバサダーは、パラスポーツの魅力を広く発信し、社会における障害者の平等な参加と機会の



促進に貢献しています。また、障害者だけでなく、区内の小学校では授業の一環として、さまざまなパラスポーツを体験できる教室が開かれています。

ボッチャをはじめ、車いすバスケットボールやゴールボール、シッティングバレーボールなどを通じて、子どもたちにパラスポーツを身近に感じ、理解を深めてもらいたいと考えています。

スポーツ推進委員で学んだ笑顔を忘れない姿勢、パラスポアンバサダーで学んだ思いやる気持ち。これからも、障害の有無に関係なく、お互いを尊重しサポートしてまいります。(中央地区 小島 みや)

パラスポーツ指導員とは

公益財団法人日本パラスポーツ協会及び加盟団体等が、公認パラスポーツ指導員制度に基づき資格認定する指導者で、日本国内のパラスポーツの普及と発展を目指して、パラスポーツのスポーツ環境を整備する上で専門的な知識、技術を有する人材の養成、資質向上を目的としています。(公益財団法人日本パラスポーツ協会ウェブサイトより引用)

えどがわパラスポアンバサダーとは

区が開催する「初級パラスポーツ指導員養成講習会」で資格を取得した方などを独自に「えどがわパラスポアンバサダー」として登録し、区が実施するパラスポーツ事業への協力を定期的に呼びかけ、資格取得者がパラスポーツに携われる機会を積極的に創出しています。

(江戸川区ウェブサイトより引用)